



日刊日曜日誌
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五
日休刊一ヶ月五

地方の都市豫算額と 一戸平均額並特戸割

平均額では平市が最高だが 特戸割では石巻が第一位

新豫算の編成期に於ける各市町村は非常時下十三年度の豫算の備へに苦心専らであるが國民の覺悟は收支經濟に未だ少しの動搖もなく鋭意全く異状なしと云はれてゐるので事變に處する諸般に重點を置く豫算の編成に通じて大なる異動はなさそうであつて市制施行本格的の第一年度である平市の如きも十二年度の當初豫算に比較し其の結果としての格段を膨脹を見ざる模様である尚ほ同市が参考に見られた附近都市十二年度の當初豫算は左記の如くこれを一戸平均に割當るときは各々經營經濟を異にするので特別戸割割とを必ずしも一致する筈でなく縣下に於ては平市の如き總豫算額より見たる一戸平均が本縣最高の百八十六五錢であるに拘らず特戸割では第三位の十八圓五錢になつてゐる

▲福島總豫算額六三五四
一圓（一戸平均七二圓九
九錢特戸割一八圓二〇錢）
若松九七三二九〇圓（戸當
六六圓五二錢 特戸一六圓
九七錢）郡山七四二九四一
圓（戸當七二圓七八錢 特
戸一八圓六八錢）平六六四
八七五圓（戸當一〇八圓六
五錢 特戸一八圓一五錢）
米澤三五八三二一圓（戸當

出場四十頭の 軍用馬鍛鍊會

昨日平市八幡小路に於て

石城郡軍用候補馬鍛鍊會は既報の如く昨九日午前十時から平市八幡小路舊警中グラウ
ンドに於て創立總會後直ちに第一回鍛鍊會を催した。出場馬は五十三頭の會馬に事故不
參があつたので四十頭の馬を
連ねたものの中は志智鹿島
村長の如き軍兵軍曹の昔取
つた威風を以て乗込めるもの
を初め何れも馬術に幾分の
腕を以て副官長沼田清之助
騎兵少佐の技藝安忠三郎
會長の告示を述べたに對し八
卷平署長の祝辭終つて沼田少
佐指揮の下に口取、乗馬、下
馬、常歩、速歩その他馬操檢
査を終る形やかな鍛鍊を四
輪、直歩、曲歩を技に約二

恤兵金を寄附

磐城高等女學校生徒一名は匿
名で金一圓を小學生三名も匿
名で金九十六錢を去八日何れ
も陸軍恤兵金に寄附方を市役
所に寄託した

林大將の 講演會

来る廿五日頃
平市在郷軍人會及び市役所
の他の団体主催で来る二十五
日午後二時から國民精神總動

明日の共販 出荷四二七俵

相場は五六十錢か
石城郡販賣場十一日の俵米共
販は出荷左記の如く四百二十
七俵の出廻りであるが相場豫
想は十二圓五六十錢のところ
かと云はれてゐる

平市職業紹介所の 十二月の取扱成績

昨年同期より求人増、求職減
平市職業紹介所に於ける去る十
二月中の紹介成績は求人總數
男八〇一、女三〇五計一一〇
六名で之れに對する求職者男
七八、女二計九〇名内就職
されたもの男六〇、女三計
六三名であるが業種別を上げ
れば

平署 理結髮業總會 今日平署の會議室にて

白土登 湯本町菜花森晴
馬上勇太郎 橋本八彌 小
名濱町坂本きよ 秋山まつ
の 仲田はな 玉川村小泉
やいの 小名濱遊羽市子
内郷村追川喜吉 尾澤梅吉
田中きみ 松崎かつ 永
戸村井上金吉 下小川村根
本むめ 平澤梅三 江名町
田口まさ 河野記一 湯本
町佐藤きみ（以上）

明日の共販 出荷四二七俵

相場は五六十錢か
石城郡販賣場十一日の俵米共
販は出荷左記の如く四百二十
七俵の出廻りであるが相場豫
想は十二圓五六十錢のところ
かと云はれてゐる

平市職業紹介所の 十二月の取扱成績

昨年同期より求人増、求職減
平市職業紹介所に於ける去る十
二月中の紹介成績は求人總數
男八〇一、女三〇五計一一〇
六名で之れに對する求職者男
七八、女二計九〇名内就職
されたもの男六〇、女三計
六三名であるが業種別を上げ
れば

磐崎村の火事

昨九日湯長各で
石城郡磐崎村の上湯野谷字梅
ヶ平七六無職五十嵐徳治（七）
方から昨九日午後一時五十分
頃火災一棟を焼失して銀
火した損害二百圓で原因は徳
治の煙草（三）が宅から約
二間程離れた便所の煙草して
ゐたが燃えため火火で暖をと
つてゐるところを風に煽られ
て火災となつたもの

戦地 鐵道の修理作業 の便

平市出身 金古義弘
謹啓、〇月〇日〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

足に小傷を負ふ

神谷村出身 齋藤長次
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

小兒火傷死

石城郡永戸村の合戸字中山二
七番野見長男秋幸昌三（三）は
去る八日午後三時四居宅に於
て全身火傷死亡した原因は當
日父親見長山録きに母が所用
ありて外出し留守を姉文代
（八）弟幸也（三）と三人、勝手
の爐中へ炭を焚き遊びながら
暖を取つてゐた際着衣に火を
移し火源となる

小嶋蘭平技手

縣農務課農務勸進主任小嶋蘭
平氏は去る十二月二十八日以
來病氣鬱鬱とあつたが昨九

落ちて死

東北化學の職工
平市北町東北化學の職工高
久登（三）は去る五日午後二時
半頃會社のトラックに乗じて
石城郡内郷村の郷地内國道を
疾走中誤つて車上から道路に
落んにこれあり危険でござ
いました先づは移動御報知
まで（十二月二十二日）

プリズムは分光器の謂
だ子供に教へる習慣の
如き家族からのプリズ
ムの様な働きなども
云ふ、似通ふ語でもプ
リズムと云へば空屋、
監獄の意、押はれの身
囚人をプリズナーと云

明日の共販 出荷四二七俵

相場は五六十錢か
石城郡販賣場十一日の俵米共
販は出荷左記の如く四百二十
七俵の出廻りであるが相場豫
想は十二圓五六十錢のところ
かと云はれてゐる

平市職業紹介所の 十二月の取扱成績

昨年同期より求人増、求職減
平市職業紹介所に於ける去る十
二月中の紹介成績は求人總數
男八〇一、女三〇五計一一〇
六名で之れに對する求職者男
七八、女二計九〇名内就職
されたもの男六〇、女三計
六三名であるが業種別を上げ
れば

磐崎村の火事

昨九日湯長各で
石城郡磐崎村の上湯野谷字梅
ヶ平七六無職五十嵐徳治（七）
方から昨九日午後一時五十分
頃火災一棟を焼失して銀
火した損害二百圓で原因は徳
治の煙草（三）が宅から約
二間程離れた便所の煙草して
ゐたが燃えため火火で暖をと
つてゐるところを風に煽られ
て火災となつたもの

戦地 鐵道の修理作業 の便

平市出身 金古義弘
謹啓、〇月〇日〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

足に小傷を負ふ

神谷村出身 齋藤長次
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

小兒火傷死

石城郡永戸村の合戸字中山二
七番野見長男秋幸昌三（三）は
去る八日午後三時四居宅に於
て全身火傷死亡した原因は當
日父親見長山録きに母が所用
ありて外出し留守を姉文代
（八）弟幸也（三）と三人、勝手
の爐中へ炭を焚き遊びながら
暖を取つてゐた際着衣に火を
移し火源となる

小嶋蘭平技手

縣農務課農務勸進主任小嶋蘭
平氏は去る十二月二十八日以
來病氣鬱鬱とあつたが昨九

落ちて死

東北化學の職工
平市北町東北化學の職工高
久登（三）は去る五日午後二時
半頃會社のトラックに乗じて
石城郡内郷村の郷地内國道を
疾走中誤つて車上から道路に
落んにこれあり危険でござ
いました先づは移動御報知
まで（十二月二十二日）

振り落され重傷のため市内新
川村病院に手當中九日午
前一時遂に死亡した

小兒火傷死

石城郡永戸村の合戸字中山二
七番野見長男秋幸昌三（三）は
去る八日午後三時四居宅に於
て全身火傷死亡した原因は當
日父親見長山録きに母が所用
ありて外出し留守を姉文代
（八）弟幸也（三）と三人、勝手
の爐中へ炭を焚き遊びながら
暖を取つてゐた際着衣に火を
移し火源となる

小嶋蘭平技手

縣農務課農務勸進主任小嶋蘭
平氏は去る十二月二十八日以
來病氣鬱鬱とあつたが昨九

落ちて死

東北化學の職工
平市北町東北化學の職工高
久登（三）は去る五日午後二時
半頃會社のトラックに乗じて
石城郡内郷村の郷地内國道を
疾走中誤つて車上から道路に
落んにこれあり危険でござ
いました先づは移動御報知
まで（十二月二十二日）

戦地 鐵道の修理作業 の便

平市出身 金古義弘
謹啓、〇月〇日〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

足に小傷を負ふ

神谷村出身 齋藤長次
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇日

小兒火傷死

石城郡永戸村の合戸字中山二
七番野見長男秋幸昌三（三）は
去る八日午後三時四居宅に於
て全身火傷死亡した原因は當
日父親見長山録きに母が所用
ありて外出し留守を姉文代
（八）弟幸也（三）と三人、勝手
の爐中へ炭を焚き遊びながら
暖を取つてゐた際着衣に火を
移し火源となる

小嶋蘭平技手

縣農務課農務勸進主任小嶋蘭
平氏は去る十二月二十八日以
來病氣鬱鬱とあつたが昨九

落ちて死

東北化學の職工
平市北町東北化學の職工高
久登（三）は去る五日午後二時
半頃會社のトラックに乗じて
石城郡内郷村の郷地内國道を
疾走中誤つて車上から道路に
落んにこれあり危険でござ
いました先づは移動御報知
まで（十二月二十二日）

